



トマト加工品
今年のトマト加工品市場は、昨年やや鈍化した市場拡大の勢いを取り戻せるか?

昨年の同市場は、主要製品でやや明暗が分かれ、これまで続いていた数量ベ

1~10月累計のトマト加工品JAS格付実績は前年同期比0・8%減とほぼ横ばい。主要製品のトマトケチャップは9・5%減。生

品でやや明暗が分かれ、これまで続いていた数量ベスでの拡大基調が一服し

た。昨年の同市場は、主要製品でやや明暗が分かれ、これまで続いていた数量ベスでの拡大基調が一服し

た。昨年の同市場は、主要製品でやや明暗が分かれ、これまで続いていた数量ベスでの拡大基調が一服し

た。昨年の同市場は、主要製品でやや明暗が分かれ、これまで続いていた数量ベスでの拡大基調が一服し

た。昨年の同市場は、主要製品でやや明暗が分かれ、これまで続いていた数量ベスでの拡大基調が一服し

た。昨年の同市場は、主要製品でやや明暗が分かれ、これまで続いていた数量ベスでの拡大基調が一服し

た。昨年の同市場は、主要製品でやや明暗が分かれ、これまで続いていた数量ベスでの拡大基調が一服し

た。昨年の同市場は、主要製品でやや明暗が分かれ、これまで続いていた数量ベスでの拡大基調が一服し

産数量は減少したものの、家庭用は引き続き堅調。基礎調味料としての値頃感を活かし、生活者の節約・時短志向に応えるメニュー提案を進めたことで、ナポリタンなどの洋食メニューの情報発信と販促強化が寄与した。もう1つの柱であるトマトジュースは8・2%増の大増で好調が継続。購入率は引き続き伸長して

いる。美容関心層の新規ユーチューバー流入・ヘビーユーザー化に加え、血圧が高めの人への訴求を強化することで、改めて、改めてニーズをとらえた。今年を展望す

る。昨年の同市場は、主要製品でやや明暗が分かれ、これまで続いていた数量ベスでの拡大基調が一服し

た。昨年の同市場は、主要製品でやや明暗が分かれ、これまで続いていた数量ベスでの拡大基調が一服し

た。昨年の同市場は、主要製品でやや明暗が分かれ、これまで続いていた数量ベスでの拡大基調が一服し

た。昨年の同市場は、主要製品でやや明暗が分かれ、これまで続いていた数量ベスでの拡大基調が一服し

大容量鮮度容器の需要拡大なるか しょうゆ

26年のしょゆ市場は、業務用需要の回復、家庭用需要の維持が重要なだ

ら。前年のしょゆ市場は、業務用カテゴリーが回復、家庭用カテゴリーが停滞といった動きとなつたが、本年についても同様の動きが継続するものと見ら

れる。前年のしょゆ市場は、業務用カテゴリーは、コロナ禍以降、飲食市場において大規宴會の実施回数が大幅に減少し、居酒屋などを

中心とする需要がコロナ禍依然と比較して停滞している。また、前述のように入手不足を主要因に調理人が確保できず、加工度の高い調味料へ移行するパターンが増加。このような状況下、各メーカーは人手不足に向けた提案などを積極的に行うことが必須となるだ

一方、輸出については前年に引き続き増加傾向に。全味工連が全国醤油工業協同組合連合会(全醤工連)とともに、認定農林水産物・食品輸出促進団体(品目団体)として、農林水産大臣の認定を受けて以降、これを追い風として輸出はさらなる伸長傾向にあり、今後も需要の高まりが期待される。

輸出拡大に期待 みそ

26年のみそ市場は、国内需要喚起に注力することが重要となるだろう。前年のためには、

大豆など原材料の高騰や諸経費の増加が続き、企業努力によって価格の維持に努めてきたメーカー各社が価格改定を余儀なくされたこと

も影響しているだろう。国内消費を伸ばすことが長年の課題となっているが、

節約志向から買い物控えの傾向が強まっている点、家庭内調理の簡便化が進行して

る点などを鑑みつつ、いかに需要を喚起していくかが課題となっている。

(石母田 駿)

市場拡大の勢いを取り戻せるか

が喜ぶメニュー提案に注力したい。一方、業務用は顧客ニーズである人手不足に応する商品の拡販を進めたい。

トマトジュースはここ数年、市場が大きく成長してきたが、昨年に入つてやや伸びが鈍化した。しかし9月にテレビ番組でその効果

が伝えられると勢いを取り戻したという経緯がある。やはりトマトが持つ健康価値への期待は大きく、高血圧対策や美容効果など多様な目的で老若男女幅広いユーザーの支持を集めています。今年2月には、大手メーカーが価格改定を予定

が伝えられると勢いを取り戻したことになる。そのためには、ユーチューバーの離反を防ぎ、新規エントリー層の定着を図るために、さまざまな飲用シーン提案による習慣化を呼びかけたい。市場の中心である食塩無添加品は、プレーンな味わいから、朝食

で活躍できる余地はまだあるはずだ。

(高野内俊)